

採 水 手 順

準備編

1. 採水器具（ひしゃくやハイロート採水器等）を蒸留水や水道水等で洗浄し、清潔にしておく。（※ひしゃく等は、プラスチック製か金属製をお願いいたします。木製ですと大腸菌を測定する場合、菌数が多く検出される場合があります。また、藻の生えた灯油ポンプ等も同様の理由でお控えください。）
2. 「検体サンプリング依頼表」の「必要ボトル数」のボトルを準備する。
3. ボトルや袋に「検体サンプリング依頼表」の「受付番号」をマジック等で記入する。

採水編

1. 採水器具を放流水で洗い、大腸菌用滅菌瓶→ノルマルヘキサン用ガラス瓶→ポリ容器の順で採水を行ってください。（以下の水とは検水の事です）

- ・大腸菌用滅菌瓶…袋から取り出し、ふたを開けて水を入れて下さい。（内容物の結晶は、必要なものですので取り出さず水を入れてください。）
- ・ノルマルヘキサン用ガラス瓶…ふたを開け、水を入れてください。この際、ガラス瓶に記入している「←このあたりまで採水してください」程度水を入れてください。但し、多くなったとしても水は捨てないでください。
- ・ポリ容器…ふたを開け、水を入れて下さい。

2. 流入水を 1. の手順で行ってください。
3. 最後に放流水か水道水で採水器を清潔に洗浄してください。（塩素消毒の為）

運搬～帰社編

1. 検体が分らなくなるように、「受付番号」の再確認をお願いいたします。
2. 早めに冷蔵保存をお願いいたします。

検体発送編

1. 指定輸送用検体箱に運搬用ラベル(送り状)を貼ってください。
2. クール便での発送をお願いいたします。
3. 輸送中に検体ビンが踊らないようなクッション材の同梱をお願いいたします。

分析項目別注意

項目	容器	項目の特徴及び注意点
pH	ポリ瓶	好気/嫌気分解・硝化・脱窒等の微生物の活動によって変化しやすいので、これを抑えるために冷蔵保存を行う。
BOD	ポリ瓶	好気性微生物の働きにより、減少することがある。これを抑えるために冷蔵保存。
COD・全窒素 (全リン)	ポリ瓶	微生物の働きにより、値が減少することがあるため冷蔵保存。また、COD・全窒素・全リンの3項目のみで、採水から到着まで日数を要する場合は、薬品添加により、ある程度保存期間の延長が可能となるので、事前に要打ち合わせ。
大腸菌群数	滅菌瓶	SS濃度やアンモニア濃度の高い排水では処理されず、残留することが有る。特に有機物濃度が高いと、採水後増殖することが有るため、冷蔵保存にて増殖をおさえる。保存容器は採水時の大腸菌の量を測定する為、滅菌瓶にチオ硫酸ナトリウム(塩素還元剤)を加えたものを使用する。(大腸菌の増殖が見込まれる場合、滅菌瓶だけでも氷等で早期冷却を要する。)
ノルマルヘキサン抽出物質	ガラス	いわゆる油である為、微生物による分解を阻止するため冷蔵保存。 保存容器は付着の影響を抑える為、ガラスビンに保存する。
塩化物イオン・SS	ポリ瓶	特に注意する点はない。

まとめ表

	ポリ瓶	大腸菌滅菌瓶	ノルヘキ用ガラス瓶
共洗い	○する	×しない	
採水器	清潔な採水器具をお願いいたします。(水道水洗浄等)		
採水量	大体満水になるようにお願いします。		10%程度容量を残してください。
運搬時の注意	早めの冷却をお願いします。		早めの冷却。 ビンを横にしないでください。
採水後の保管温度	10℃以下での冷蔵保管。(凍結はさせないでください。)		
検体発送迄の期間	当日～一両日中		
受付日(到着日)	月～金曜	月～木曜	月～金曜